

令和4年度あおもりフィールドスタディ支援事業

SDGs11つながる青森 よこうちプロジェクトVol.2

横内地区まちづくり協議会 学生サポートチーム「チームまちゃみ」

コヤア

横内地区まちづくり協議会学生サポートチーム「チームまちゃみ」

組織概要 青森中央短期大学及び学校法人田中学園設置校に在籍する学生

地域 青森市横内地区連合町会区域

(横内・雲谷・四ツ石・野尻・合子沢・新町野・牛館・大谷沢・卸町・サンヒルズ)

設立 令和3年4月

活動を通し地域福祉の推進と健全な心身を形成し、学生生活を充実したものにすることを目的とする。

そして、横内地区まちづくり協議会での地域課題への介入を行う。横内地区まちづくり協議会「横内地区まちづくり計画」のスローガンは「人とひとがつながるよこうち」、テーマは「高齢者や障害者にもやさしいまちとして生きがいづくりや地域で支え合う」である。

プロジェクトのねらい

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、地域社会での直接コミュニケーションをとる機会も減少していることから、社会的孤立や孤独が顕在化し深刻化している。そのため、青森市南部の横内地区の独居高齢者を中心とした、

社会的孤立や孤独感の軽減の維持を目指し
SDGs11住み続けられるまちづくり、安心
した地域生活の継続を目指す。



孤立・孤独の予防に向けた SDGs 11青森よこうちつながるプロジェクトVol2

	内容	概要(独居高齢者を含む高齢者)
1	権現様	8月 横内地域の既存の伝承文化「権現様」が横内児童遊園に登場(12名)
2	花壇づくり	8月 横内児童遊園の草取りに地域高齢者・小学生と学生が参加(12名)
3	みんなの食堂inよこうち「焼きそば」	9月 横内地区の独居高齢者等と学生がコミュニティファーム横内で「焼きそば」作り(10名)
4	みんなの食堂inよこうち「ハーブで肉料理」	9月 横内地区の独居高齢者等と学生がコミュニティファーム横内で「ローズマリーを使った肉料理」作り(10名)
5	みんなの食堂inよこうち「やきそば&かぼちゃスープ」	9月 横内地区の社会福祉協議会と独居高齢者等及び学生が横内秋ねぶたの軽食作り(18名)
6・7	みんなの食堂inよこうち「カレー」	9月 横内地区の独居高齢者等と学生が横内市民センターでカレー作り(12名)
8	みんなの食堂inよこうち「多国籍料理」	10月 横内地区の独居高齢者等と学生が横内市民センターで多国籍料理作り(19名)
9・10	花壇づくり「魔女集会」(中級・上級)	10月11月 横内地区の独居高齢者等と学生が、横内児童遊園の花壇整備とほうき草(コキア)の定植を行う(12名/27名)
11	花の寄せ植え	11月 横内地区の高齢者とコミュニティガーデン横内で花の寄せ植え体験(15名)
12	みんなの食堂inよこうち「つきがえし」	11月 横内地域独居高齢者等と横内市民センターでお寺や家の行事のときに作る伝統料理を学生が学ぶ(11名)
13	みんなの新聞/自宅避難訓練	12月 横内地域の独居高齢者等へのインタビューから地域へ「みんなの新聞」発行、独居高齢者のうち希望者へ「あべのマスク」配布(100名)横内市民センターへ避難食を備蓄しイベントで今後使用する予定(750食)
14	介護ロボット体験/介護予防体操	12月 横内地域独居高齢者等と横内市民センターで介護vロボット体験と介護予防体験(6名/6名)
15	コミュニティガーデン横内管理委員会結成会議	1月 横内町会長はじめ婦人部の方々等と学生が、児童遊園を「コミュニティガーデン横内」と称し、管理委員会が結成(12名)
16	情報誌作成	2月 本プロジェクト内容をまとめた冊子を地域の小中学校や地域へ配布した(1000部)

権現様（参加者12名）花壇づくり（参加者12名）



○8月、地域の方が毎年「権現様」で地域内を廻り家の前で待つ人々の頭をかみ、幸福を祈願することに参加した。

【参加者の声】

- ・権現様に頭をかじられて健康に過ごせる気分で嬉しい。
- ・権現様に頭をかじってもらって今年も元気でいきたいです。

【成果・課題】

地域の伝統行事が誰によってどのように実施されているのかがわかった。もっと多くの若い世代に伝えていかないと伝統の継承が困難ではないかと感じた。



○8月児童遊園の草取りを地域の方や小学生と実施した。

【参加者の声】

- ・児童遊園に入ったことがなかったけど、今日は草取りして楽しかった。
- ・草取りしながら途中でハーモニカの演奏で歌って楽しかった。

【成果・課題】

世代間交流によって児童遊園がきれいになった。住民の交流が活性化することや、避難所としても効果的な場所となった。さらなる交流の促進と維持管理が今後の課題である。

青森県重要文化財 常福院(横内城城跡)の隣接する公園を再生し、「コミュニティガーデン横内」が誕生



重要文化財を守り継承していきたい
活用されていない荒れた公園を
交流の場にしたいという横内住民の声



公園を**コミュニティガーデン**にして地域の人たちが世代間交流できる場づくりを実施。
そしてその活動を**地域の力**で継続できるように**地域サポーター**を養成したいと
花壇づくりを中心として実施。



地域サポーターとして
コミュニティガーデン横内
管理委員会結成となった。

みんなの食堂inよこうち「やきそば」(参加者10名)

みんなの食堂inよこうち「ハーブで肉料理」(参加者10名)

みんなの食堂inよこうち「やきそば&かぼちゃスープ」(参加者18名)

*横内秋ねぶたの会場には約200名が参加した。



○9月コミュニティファーム横内で収穫野菜を使って「やきそば」を作って試食した。

【参加者の声】

- ・学生さんとの交流が楽しい。
- ・みんなで食べると「やきそば」も美味しい。

○9月に横内地域で6年ぶりに開催された「横内秋ねぶた」の出発点、常福院で18名が「やきそば」「かぼちゃスープ」を提供することで地域住民と交流した。

【参加者の声】

- ・食事があって盛り上がった。やきそばを外で作って食べておいしかった。
- ・タイのかぼちゃスープも珍しくて本場さながらおいしかった。

【成果・課題】地域の伝統文化の参加による伝承と、食事づくりで世代間交流できた。男性高齢者の参加が促進された。計画性をもって実施することで、より多くの地域住民に参加してもらえるようなしくみを作る必要がある。

みんなの食堂inよこうち「カレー」(参加者10名)
みんなの食堂inよこうち「多国籍料理」(参加者19名)
みんなの食堂inよこうち「つきがえし」(参加者11名)



○9月～11月横内市民センターで地域高齢者と大学生・留学生と一緒に調理し持ち帰った。

【参加者の声】

- ・普段はやらない料理もみんなでやると楽しいです。
- ・いろんな国の料理をみんなで作って食べて格別においしかった。
- ・祖母が団子を作るので、団子づくりが楽しかったです。

【成果・課題】

料理の伝承によって世代間交流や留学生の参加で国際的交流が促進された。男性高齢者の参加が乏しいことが課題である。

花壇づくり「魔女集会」(中級・上級) 花の寄せ植え (12名/27名)



○10月横内児童遊園で学生・留学生と地域高齢者が一緒に花壇に花を定植した。

【参加者の声】

- ・ どんな花壇になるのかすごく楽しみながらできた。
- ・ 久しぶりに会うけど、こうして外に出るといいね、これから公園に散歩にいくのが楽しみです。
- ・ これまではなかなか入れない感じの公園だったけど、これからは孫を連れて遊べて嬉しい。

【成果・課題】

この地域の独居高齢者の余暇で比率の多い「植物の世話」を多世代で交流していける場ができ、花壇は美しく景観がよくなった。また健康や孤独孤立の予防等、多くの効果が期待できる。この景観を維持していくことが必要であると感じた。



みんなの新聞/自宅避難訓練 介護ロボット体験/介護予防体操(参加者6名)



○12月横内市民センターで地域高齢者に介護ロボットを体験してもらった。

【参加者の声】

・介護ロボットとなつかしい歌をうたって楽しかった。

【成果・課題】

・体験してもらい、今後の参考にしてもらえた。しかしより多くの高齢者や若い世代に知ってもらいたい。



○12月難聴がある地域の協力者へ民生委員さんと訪問し生活についてインタビューし、「みんなの新聞」を作成した。10町会へ回覧した。

【参加者の声】

・話をきいてもらって嬉しかった。

【成果・課題】

地域全体で難聴者の理解に近づき共助で安心した生活が期待できる。同じような状況の方同士で話ができる場を作る必要があると感じた。



○12月横内市民センター横内連合会議で10町会長を通じて「あべのマスク(100個)」独居高齢者に配布してもらった。危機管理課より避難食(750食)をローリングストックとして横内市民センターに保管。

【参加者の声】

・これから何かしらのイベントにあわせて提供されると防災意識を高められる。
・以前にも避難食として、アルファ化米をおにぎりにして配布されて助かる。
・これからの地域の防災・減災への周知や、独居高齢者が災害時に助けてほしいサインを地域で考えることが課題だと思う。

【成果・課題】

防災意識は周知できたのではないかと考える。しかし、イベントへの参加が困難な方への防災への介入が必要であると感じた。



「コミュニティガーデン横内」 管理委員会結成会議(参加者12名)



○1月横内市民センターで、横内町会長・地域高齢者・婦人部・学生(留学生)大学・短大教員が集まり、横内児童遊園を「コミュニティガーデン横内」と称し、管理委員会が結成された。

【参加者の声】

- ・これから「コミュニティガーデン横内」にいろんな花を植えてきれいにしていきたいです。
- ・コキアがきれいだね、また植えたいね。
- ・学生さんも一緒に取り組めて嬉しい。
- ・地域住民として、コミュニティガーデン横内で子どもを育てた思い出もあり、今後きれいな花壇を維持していきたい。
- ・学生が地域で活動できる時間を確保し地域の婦人部を含む管理委員として月に1回定時第1水曜15時から17時整備をする。

【成果・課題】

コミュニティガーデン横内が地域で管理され景観を維持していけることになった。交流による健康増進のほか、避難所としての機能も期待できる。委員会のメンバーを幅広く参加してもらえるようにする必要があったと感じた。

収支決算

1 収入

(単位:円)

区 分	決算額	摘 要
自己負担額	121,066	
大学地域活動費	21,066	
青森市産官学連携プラットフォーム事業費	100,000	
市補助金額	400,000	令和4年度あおもり フィールドスタディ支援事業補助金
合 計	521,066	

2 支出

(単位:円)

科 目	決算額	内 訳		摘 要
		自己負担	補助金	
事務費	339,959	110,559	229,400	消耗品、園芸用品
原材料費	79,957	9,957	70,000	食材費
報償費	1,600		1,600	訪問技術指導料
印刷製本費	99,550	550	99,000	活動冊子製作
合 計	521,066	121,066	400,000	

事業成果

- 2019年末に始まった新型コロナウイルス感染症は今年度も蔓延し、全国的に人との交流に留意が必要な状況であったが、孤立・孤独軽減にむけた交流は、屋外の活動では影響を受けにくく、本プログラムでは延べ**1232名**の参加があった。
- 参加者は、幼児から高齢者（独居高齢者を含む）まで多世代の交流となった。
- 独居高齢者の男女共通の余暇活動である「**植物の世話**」を取り入れたことから男女の偏りが軽減され参加につながった。
→町会長はじめ、男性高齢者が行政との調整、町会内の業者等との調整を行い学生と地域の方と一緒に花壇に花を植えることができた。
- 子どもたちが安全に遊ぶ場としては、程遠い状態にあった児童遊園を地域の力でコミュニティガーデン横内として再生できた。
- 孤立に伴う災害予防として自宅避難訓練の実施により自助・共助が強化された。
- 難聴者への訪問によるインタビューで、相互に理解する機会が得られた。
- 地域高齢者の食の文化を若い世代へ伝承する機会が得られた。
- 学生（留学生）と地域高齢者が相互に主体的に活動できる場となった。



総評

本活動により地域住民の多世代間の人的交流促進につながったと考えられる。

特に、コミュニティガーデン横内は、今後も地域の管理委員会により運営され、さらなる地域住民の交流の場として発展が期待できる。

地域住民の人的交流の増加により孤独・孤立の軽減に向けた **SDGs11住み続けられるまちづくり**につながると示唆された。

